

News Release

2019年12月19日
 NITE（ナイト）
 独立行政法人製品評価技術基盤機構
 製品安全センター（東京）

配線器具の事故にご注意ください ～関東甲信越における事故を中心に～

1. 関東甲信越地方の配線器具の事故

（1）年度別事故発生件数と被害状況

2014年度から2018年度までの5年間でNITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、群馬県、埼玉県、山梨県、新潟県、神奈川県、千葉県、長野県、東京都、栃木県）で発生した配線器具^{※2}による事故は計75件あり、うち火災となった事故は46件ありました。配線器具による事故について、関東甲信越地方の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3、製品別事故発生状況を表4に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2 テーブルタップ、延長コード、マルチタップ、コードリール及びコンセント

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
事故発生年度	2014年度	2	2		2	2	7	1				16
	(内数)火災事故	(1)	(1)		(2)	(2)	(7)					(13)
	2015年度		4	5	3	2	4		1			19
	(内数)火災事故		(4)	(2)	(2)	(1)	(4)					(13)
	2016年度		4	1	3	4	1			1		14
	(内数)火災事故		(4)		(1)	(3)						(8)
	2017年度	1	2	2	4	1	5	1				16
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(4)					(9)
2018年度		1	1	1	2	4		1			10	
(内数)火災事故		(1)			(1)	(1)					(3)	
合計		3	13	9	13	11	21	2	2	1		75
(内数)火災事故		(2)	(11)	(3)	(6)	(8)	(16)	(0)	(0)	(0)	(0)	(46)

表 2. 被害状況別事故発生件数^{※3}

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計	
被害状況	人的被害	死亡			1							1	
		重傷											0
		軽傷	1		2	2	1	2					8
	物的被害	拡大被害	1	9	5	6	9	14	1	2			47
		製品破損	1	4	2	3	1	5	1		1		18
		被害なし				1							1
合計		3	13	9	13	11	21	2	2	1	0	75	

※3 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの		1	2	5	4	3	1	2	1		19
	B 製品および使い方に問題があったもの											0
	C 経年劣化によるもの		1									1
	G3 製品起因であるが、その原因が不明のもの	1		1			1					3
	小計	1	2	3	5	4	4	1	2	1	0	23
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの						1					1
	E 誤使用や不注意によるもの	1	7		1	1	1					11
	F その他製品に起因しないもの		1		2	1	2					6
	小計	1	8	0	3	2	4	0	0	0	0	18
その他	G 原因不明のもの	1	3	6	5	3	10	1				29
	H 調査中のもの					2	3					5
	小計	1	3	6	5	5	13	1	0	0	0	34
合計		3	13	9	13	11	21	2	2	1	0	75

表 4. 製品別事故発生状況

製品名	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
コンセント		2	2	1	1	5					11
テーブルタップ	2	8	3	10	6	12	1	1			43
マルチタップ	1	1	1		1		1				5
延長コード		2	3	2	3	4		1	1		16
合計	3	13	9	13	11	21	2	2	1	0	75

(2) 関東甲信越地方において発生した配線器具の事故事例

① コンセント

- ・ 2015年6月、東京都、拡大被害

(事故内容)

店舗で床埋め込み式コンセントに接続していた電源プラグを引き抜こうとしたところ、コンセント及び電源プラグ部を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

コンセントに差し込んだ電源プラグに踏みつける等の外力が加わり、差込口部が金属製取付枠から外れたため、電源プラグを抜く際に栓刃と金属製取付枠が短絡したものと推定される。

なお、取扱説明書には「重いものを落としたり、ぶついたりしない。地絡・感電の原因になる。」旨、記載されている。

② 延長コード

- ・ 2017年10月、群馬県、拡大被害

(事故内容)

店舗で延長コードに複数の電気製品を接続して使用中、延長コード及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

電源コードに屈曲等の機械的ストレスが加えられて芯線が半断線となり、当該箇所が過熱、溶融して短絡し、出火に至ったものと推定され、接続可能な最大電力(1500W)を超える多数の電気製品を接続して使用していたことも事故発生に影響したものと考えられる。

なお、本体及びパッケージには、「無理に曲げない、ねじらない。」、「合計1500W以内で使用する。」旨、記載されている。

③ 延長コード

- ・ 2018年5月、群馬県、製品破損

(事故内容)

延長コードの電源タップ部が焼損した。

(事故原因)

観賞魚用水槽の近くで使用していたため、事故品の刃受け金具部に塩水が付着してトラッキング現象が生じ、焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「観賞魚用水槽の近くなど水のかかりやすい場所で使用しない。火災の原因となる。」旨、記載されている。

2. 配線器具の事故の再現実験映像について

以下の映像をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

(1) 実験映像内容

- ① たこ足配線で異常発熱 (2. (2) 写真1)
- ② トラッキング現象で発火 (2. (2) 写真2)

(そのほか)

・ テーブルタップ、延長コード

- ③ トラッキング現象で発火
 - ④ 束ねたコードの発火1
 - ⑤ 束ねたコードの発火2
- ・ 電源コード
- ⑥ コードリールの発火
 - ⑦ 素人修理で発火
 - ⑧ ねじり接続で発火
 - ⑨ 地震で転倒したロッカーによる電源コードのショート
 - ⑩ 半断線で発火
 - ⑪ 断続的なショート
- ・ 電源プラグ
- ⑫ トラックが成長する過程
 - ⑬ 変形した電源プラグを使用して異常発熱
 - ⑭ 栓刃に金属の鎖が接触してショート

(2) 実験映像例

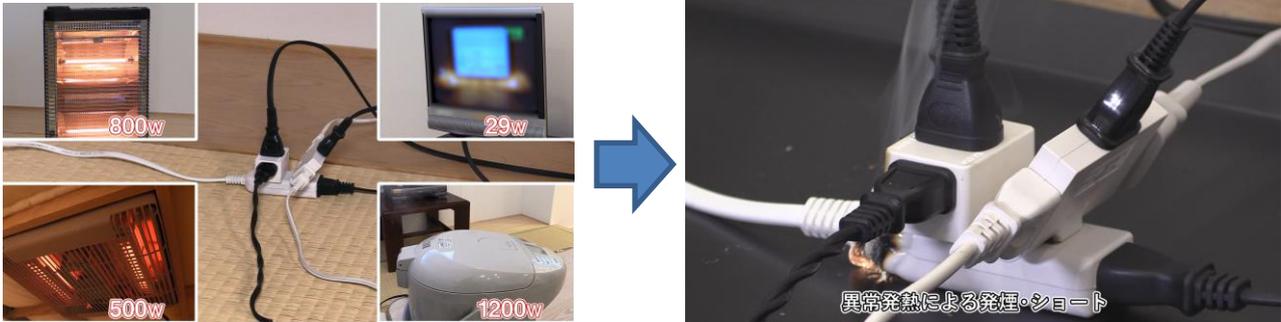


写真1. たこ足配線で異常発熱

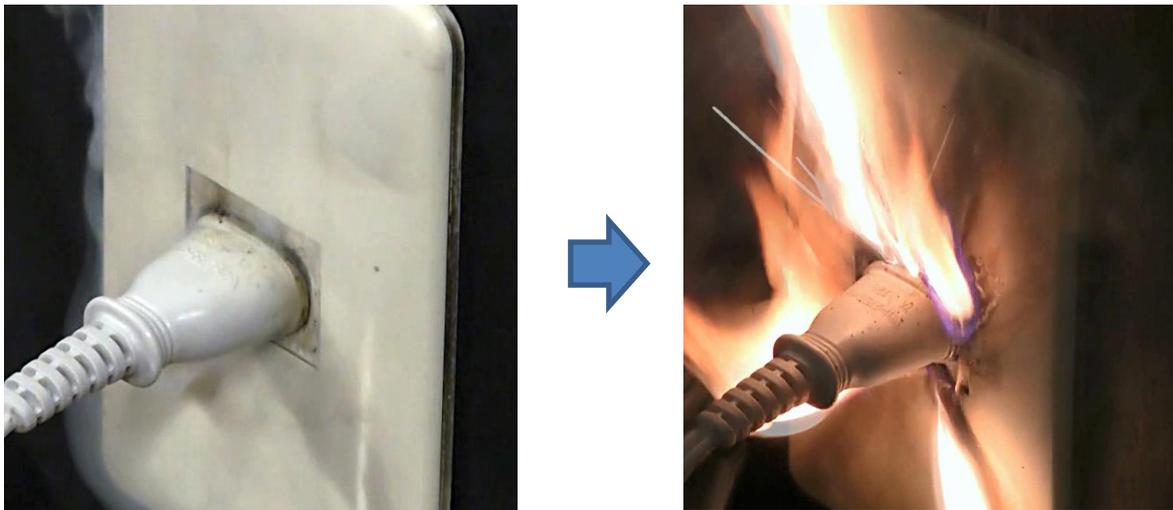


写真2. トラッキング現象で発火

(本件に関する問い合わせ先)
〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 技術業務課
担当者：松本（まつもと）、長谷川（はせがわ）、佐藤（さとう）
電話：03-3481-1820